



© 藤子プロ

(仮称) 藤子・F・不二雄ミュージアム

基本計画

平成21年9月

川崎市



目 次

はじめに	1
1 ミュージアム整備に向けた基本的考え方	2
2 立地場所について	4
3 建築計画について	
(1) 計画概要	6
(2) 建築概要	6
(3) 敷地写真	7
(4) 全体配置	8
(5) ランドスケープ	9
(6) 環境計画	9
(7) 建築に求められる施設機能の考え方	10
(8) 施設機能構成概念図	11
(9) 設計図面	12
ア 1階平面図	
イ 2階平面図	
ウ 3階平面図	
エ 立面図・断面図	
(10) 施設機能構成面積表	16
4 展示計画について	
(1) ミュージアムの基本機能について	17
(2) ミュージアムの活動について	18
(3) 展示計画	19
ア アプローチ	
イ エントランス	
ウ 展示	
エ プラザ	
オ 映像展示	
カ 屋外広場	
キ 飲食スペース	
ク ミュージアムショップ	
ケ 収蔵スペース	

5	運営基本計画		
(1)	運営の基本的な考え方	．．．．．	2 4
(2)	運営主体	．．．．．	2 4
(3)	運営組織	．．．．．	2 5
(4)	業務分掌	．．．．．	2 6
	ア 管理部門		
	イ 運営部門		
	ウ 展示・企画部門		
(5)	営業計画	．．．．．	2 7
	ア 想定来館者		
	イ 入場券販売計画		
	ウ 集客計画		
	エ 交通誘導計画		
	オ 施設管理		
	カ 飲食・物販		
	キ その他活動と広報		
6	今後のスケジュール	．．．．．	2 9
7	参考資料		
	参考資料 1 平成 1 8 年 2 月 基本合意	．．．．．	3 0
	参考資料 2 平成 2 0 年 1 2 月 基本構想概要	．．．．．	3 1
	参考資料 3 平成 2 1 年 6 月 覚書	．．．．．	3 2

はじめに





はじめに

藤子・F・不二雄氏は、長年、川崎市多摩区に住み、子どもたちのために、数多くの「まんが」を生み出しました。しかし残念ながら、平成8年、多くの傑作を残し、その62年の生涯を閉じられました。「ドラえもん」をはじめ、藤子・F・不二雄氏の残された素晴らしい作品の数々は、今も世界中の人々に愛され続けています。

藤子・F・不二雄氏は、昭和56年、川崎市文化賞を受賞するなど川崎市とは縁が深く、その関係もあり、その後、ご夫人である藤本正子様から、原画約5万点を活用し、市民の方々に広く展示公開したいとの申し出を受けました。これを契機に藤子・F・不二雄氏の著作権管理及び作品の企画・製作を行っている株式会社 藤子・F・不二雄プロ（以下「藤子プロ」という。）と川崎市で協議を進め、平成18年2月には、(仮称) 藤子・F・不二雄ミュージアムの整備に向け、藤子プロ、藤本正子様、川崎市の3者間での基本合意を取り交わすに至りました。

この基本合意に基づいて、川崎市はミュージアム整備の基本的考え方やミュージアムの備えるべき機能、そして、それを具現化するためにふさわしい立地場所や施設概要について、藤子プロから提案を受けた基本構想（案）を踏まえながら、「(仮称) 藤子・F・不二雄ミュージアム基本構想」を平成20年12月に策定いたしました。

また、平成21年6月に、ミュージアムの整備に向けた、藤子プロと川崎市の基本的な役割分担などを取りまとめた覚書を、平成18年2月の基本合意と同様、3者間で締結いたしました。

さらに、基本構想に基づき、展示の基本的考え方や施設設計などを具現化した「(仮称) 藤子・F・不二雄ミュージアム基本計画」(案)を同時期に策定し、パブリックコメント手続きを経て、このたび、「(仮称) 藤子・F・不二雄ミュージアム基本計画」を策定いたしました。

1 ミュージアム整備に向けた基本的考え方



1 ミュージアム整備に向けた基本的考え方

(仮称) 藤子・F・不二雄ミュージアムは、藤子氏の作品の原画やそれに関連した資料などを通じて、将来にわたり、氏の業績を顕彰するとともに、「夢」「希望」「友情」「勇気」「大いなる好奇心」、そして、「人を愛するやさしい気持ち」などのメッセージを子どもから大人まで幅広い世代へ伝えていくための、世界に誇ることができる文化施設として、整備するものです。

「ドラえもん」や「新オバケのQ太郎」「パーマン」などの藤子氏の世界観を再現するため、藤子プロから提案していただいた、「藤子・F・不二雄ミュージアム（仮称）基本理念」を尊重するとともに、立地する地域環境との融和や川崎市の貴重な地域資源にふさわしいたたずまいなどにも十分に配慮しながら、整備を進めます。

また、整備に向け、平成21年6月に締結した覚書に基づき、藤子プロと川崎市が互いに協力し、平成23（2011）年9月3日の開館を目指すものです。

藤子・F・不二雄ミュージアム(仮称)基本理念

「描くのが楽しみ、読んでくれる人も楽しむ、そんな漫画がずっとぼくの理想なんだ」

あたたかみある笑い、ありふれた子ども達の日常、こだわり続けた「SF—すこしふしぎ—」。

小さい頃からお話つきの絵を描き続けた藤子・F・不二雄は、
心まで笑顔になれる「まんが」を描き続けました。

「子どもたち」「読者」に伝えていきたい、夢、希望、友情、勇気、大いなる好奇心
そして、人を愛する優しい気持ち…。

これらの思いを、
本ミュージアムは現在に…そして未来へ伝え続けていきます。

- | | |
|--------------------------|--|
| □ まんが文化 | 原画の魅力に直接触れ、作品を心ゆくまで味わい、大人も子どもも、
「まんが世界」の楽しさを感じてもらえるミュージアム |
| □ 遊びゴコロ | 藤子・F・不二雄の「遊びゴコロ」に触れて、大人も子どもも
笑顔のミュージアム |
| □ SF—すこしふしぎ— | 藤子・F・不二雄流の「SF—すこしふしぎ—」を体感できるミュージアム |
| □ コミュニケーション
(ふ れ あ い) | 親子、家族、友だち、そして町の人々みんなで考え、楽しく一緒に
育てていくミュージアム |
| □ 新しい発見 | ここでしか見ることができない、原画展示や映像
訪れた人の好奇心を満足させる何度も来たくなるミュージアム |
| □ 自 然 | 周りの自然と共存し、季節を感じるミュージアム |
| □ ホスピタリティ
(お も て な し) | すべての人々に配慮の行き届いた、人にやさしく「心地よい」
ミュージアム |

2 立地場所について



2 立地場所について

(仮称) 藤子・F・不二雄ミュージアムについては、藤本正子様及び藤子プロから建物を本市にご寄贈いただく予定です。藤本正子様及び藤子プロのご意向を踏まえ、「川崎市北部の緑豊かな地域」を想定し、地域の方々や関係事業者のご意見を伺いながら、次の視点を踏まえて立地場所の検討を行い、決定しました。

なお、立地場所は小田急電鉄の所有地であり、川崎市が借地する予定です。

(1) 緑地の自然保護に十分配慮し、新たな緑地の伐採を行わない場所

- ア 藤子・F・不二雄氏にゆかりの深い生田緑地に立地します。
- イ 生田緑地という良好な自然が残された環境と調和する建築計画とします。
- ウ 周辺の地域環境や交通渋滞への配慮から、原則として、駐車場は設置しません。

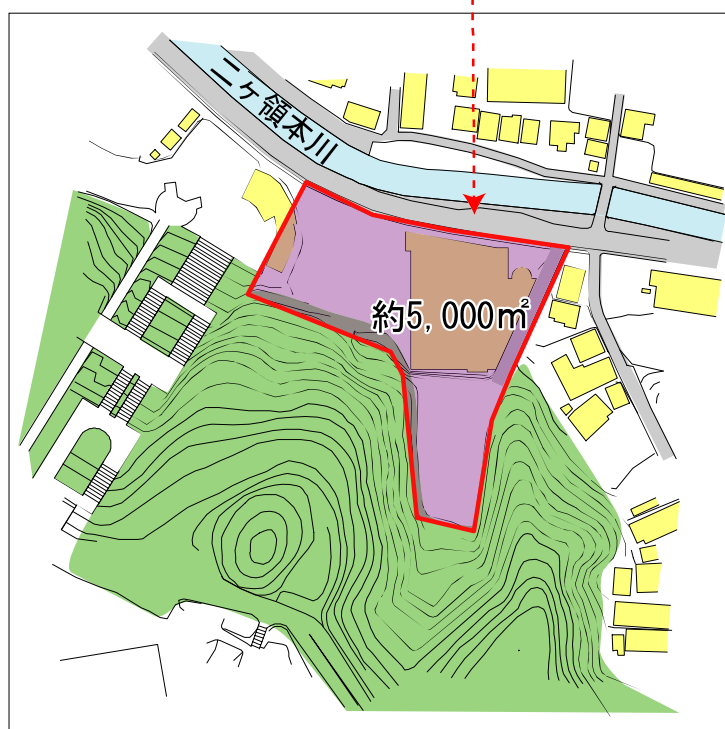
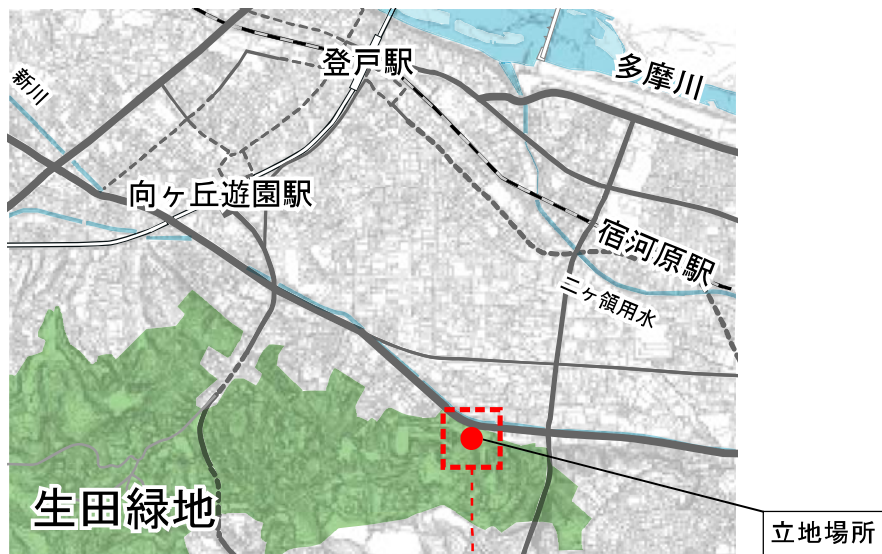
(2) 鉄道駅及び道路アクセスの利便性の高い場所（駅から徒歩圏内）

- ア 最寄の駅は、向ヶ丘遊園駅と登戸駅、さらに、宿河原駅からの利用が可能です。
- イ また、向ヶ丘遊園駅などから路線バスも運行しているので、最寄のバス停を利用することができます。
- ウ さらに、利用者の利便性を考慮し、シャトルバスの運行について、検討を進めます。

(3) 緑地周辺の自然施設・文化施設などへの回遊性について

生田緑地中央地区に立地する、青少年科学館、岡本太郎美術館、日本民家園などへの回遊性について、検討を進めます。

立地場所:川崎市多摩区長尾2丁目1271番1 他



■現地航空写真（北側より望む）

